



2021年4月1日

SOMPO未来研究所株式会社

## 「SOMPO未来研レポート」最新号の発刊

SOMPO未来研究所株式会社（取締役社長：川添 久彰、以下「当研究所」）は、この度「SOMPO未来研レポート」の最新号（Vol. 78）を発刊しましたので、お知らせします。

### 1. 最新号のテーマ

- （1）ESG 投資に取り組むべきか
- （2）Financial Well-being と金融機関の取組
- （3）代替タンパク質の拡大と代替タンパク質をめぐる議論
- （4）オランダにおける健康保険・介護保険制度の改革動向と特徴
- （5）コロナ禍で進化する政策判断における民間データ活用  
～急速に進展したナウキャストिंगを中心に～

### 2. 「SOMPO未来研レポート」とは

当研究所では、内外保険市場、社会保障・ヘルスケア、デジタル等新技術、マクロ経済、金融および気候変動に関する動向を中心に調査しています。本レポートは、1992年から発刊している当研究所の機関紙であり、当研究所の調査分野に関する論文を掲載しています。現在は年2回（4月、10月）発刊しており、通巻78号となります。

### 3. その他

- ・ SOMPO未来研レポートの掲載論文（バックナンバーを含みます。）は、当研究所WEBサイトにPDFファイルで掲載しています。
- ・ また、その他のレポート、アメリカ損害保険事情等についても掲載していますので、併せてご利用ください。  
（当研究所ホームページ） <http://www.sompo-ri.co.jp/issue/>

以上

### お問い合わせ先

SOMPO未来研究所株式会社  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 損保ジャパン本社ビル  
TEL:03(3349)5175 Email:webmaster@sompo-ri.co.jp

### (1) ESG 投資に取り組むべきか

ESG 投資には、投資に先立ってコストが発生する、他の投資手法より優れたリターンが約束されていないなど、純粋な投資として、あるいは受託者責任の観点から、ネガティブな要素が多く存在します。他方で、地球規模の問題を解決したい国連、株主活動の指針を欲する機関投資家、資金供給責任を問われている金融機関という3者の共通利益の上に成り立った国連責任投資原則が ESG 投資を推進しています。この構造（利益の一致）が参加者を増やす方向に作用し、市場を動かす規模に至る可能性があり、投資家・金融機関は「身の丈に合った」ESG 投資を展開すべき状況に置かれています。

### (2) Financial Well-being と金融機関の取組

先進国では、住宅価格や教育費などの生活費が上昇する一方、社会経済を支える中間層の所得は伸び悩み、経済的なストレスや不安が高まっています。そうした中、経済的健全性を確保し、将来の安定を図る Financial Well-being (FW) という概念が注目され、金融リテラシーの向上、家計管理や人生設計等を支援する取組が進められています。金融機関は、金融サービスの利用に関するデータを活用し、顧客の FW 向上を支援することが期待されています。

### (3) 代替タンパク質の拡大と代替タンパク質をめぐる議論

植物性代替肉や培養肉、昆虫食等の「代替タンパク質」が注目されています。背景には食肉需要の増大による将来のタンパク質不足への懸念、畜産業の環境問題、健康志向や動物の福祉への関心の高まりがあります。他方、代替タンパク質が本当に健康的で環境に優しいのかには諸説あります。代替タンパク質の普及のためには、代替製品に対する消費者の抵抗感や安全性に対する不安を取り除き、消費者に受け入れてもらうことも大きな課題です。

### (4) オランダにおける健康保険・介護保険制度改革動向と特徴

オランダは、早くから公的介護保険制度を創設し公的健康保険に管理競争を導入するなど、極めて特徴的な医療介護サービスの改革を継続的に行ってきました。その健康保険改革における特徴は、私的健康保険者が公的健康保険者になるという独自性・独創性と当事者の行動特性・インセンティブに着目した制度設計です。介護保険改革の特徴は、このままで制度が今後も維持できるかとの危機感から、健康保険制度改革と一体でコストを公的財源から民間・私的財源にシフトするなど体裁などにこだわらない、現実的実地的な課題解決を進めているという点にあります。

### (5) コロナ禍で進化する政策判断における民間データ活用

#### ～急速に発展したナウキャストイングを中心に～

民間を中心に生成されるビッグデータの普及を受けて、政府や中央銀行は足元の経済情勢を把握する「ナウキャストイング」の研究を進めています。本稿では、ナウキャストイングが注目されている背景や課題を示した上で、パンデミック禍において急速な進展を見せているナウキャストイングの取り組みについて解説します。